

② 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

6月は**23件**の事故報告がありました。

内訳は、就業中の事故が16件、就業途上の事故が7件となっています。

前年度同月と比べると事故件数は4件の増加、就業中・就業途上別にみると、就業中の事故が3件の増加、就業途上の事故は1件の増加となっています。また、男女別は、男性は16件で4件の増加、女性は7名で同数となっています。（5月の途上事故のうち1件は重篤事故（入院）になりましたので、表3の件数は調整してあります。）

就業中の事故

事故の内容をみると、就業中の事故は、高さのあるところからの「墜落・転落」事故が3件発生しています。いずれも「植木・樹木の剪定等」における転落事故で、1件は伐採作業中、切り落とした枝が自分にぶつかりそうになり安全帯を外して避けようとしたが予期に反してつかまっていた木にぶつかりその衝撃で転落、1件は一通りの作業が終わって別の場所へ移動するのに塀の上を渡っていてバランスを崩し転落、もう1件は足元を確認しないまま平地を法面両角の境を歩いていてバランスを崩し転落したというものでした。いずれも保護帽は着用していたため、頭を守ることはできましたが、せっかくの安全帯を外してしまったり、地上に降りずに塀の上を渡っていたり、足元を確認しないなど、もう少し注意深くすれば、事故にならなかったかもしれないものです。高いところでの作業をするときは、安全帯をすることを怠らず、移動は注意深くするようにしてください。

また、屋内・屋外清掃作業6件うち5件と、その他の4件の計9件は転倒による事故でした。芝生の根元、切り株、階段、段差など転倒の要因になるものは様々です。作業をされるところには危険がいっぱいです。作業開始前の点検もよくお願いします。これからの季節は、暑さで体力が奪われることで、転倒・転落のリスクも高まります。熱中症対策とあわせて、作業は日中の暑い時間帯を避け、こまめな水分補給を心掛けること、また少しでも体調の変化を感じたら、絶対に無理せず、作業を中断する判断も重要です。

就業途上の事故

就業途上の事故は会員が自転車で走行中の事故が5件、バイク、自動車が各1件でした。そのうち「交通事故」が2件、自転車、バイク走行中の転倒による事故が5件となっています。相手方の過失による事故もありますが、自転車に乗車していて道路の穴や凸凹で転倒するような事故も発生しています。就業途上で発生した交通事故は、重大な被害事故となるケースが多く見られます。通いながれた道こそ油断せず、周囲をよく確認して、安全運転の徹底をお願いします。



表3 令和8年度6月分の発生件数

仕事の内容			事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
			6月	累計	6月	累計	6月	累計	6月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等		5(1)	10(14)	5(1)	10(13)	0(0)	0(1)	80	79
	除草作業		1(2)	4(5)	1(1)	4(3)	0(1)	0(2)	83	79
	屋内・屋外清掃作業		6(3)	13(12)	4(2)	5(4)	2(1)	8(8)	79	78
	その他		4(7)	11(14)	3(4)	10(9)	1(3)	1(5)	79	79
	計		16(13)	38(45)	13(8)	29(29)	3(5)	9(16)	79	78
就業途上	交通手段	徒歩	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	—	78
		自転車	5(6)	10(10)	2(4)	5(6)	3(2)	5(4)	79	80
		バイク	1(0)	2(1)	0(0)	1(0)	1(0)	1(1)	69	76
		自動車	1(0)	2(1)	1(0)	1(1)	0(0)	1(0)	90	86
		計	7(6)	15(12)	3(4)	8(7)	4(2)	7(5)	79	80
合 計			23(19)	53(57)	16(12)	37(36)	7(7)	16(21)	83	79

()は令和7年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。（平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済）

※安全就業の手引（第六改訂）P109～P129掲載

※シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

③ シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

4月は**9件**の事故報告がありました。

4月は仕事の分類別では、「その他の運搬・掃除・包装等の職業」が3件、「その他のサービスの職業」が2件、「生産設備制御・監視の職業」「製品検査の職業」「自動車運転の職業」「運搬の職業」が各1件発生し、合計9件で、**前年度同月と同数**となっています。また男女別では、男性は5件で2件の増加、女性は4件で2件の減少となっています。

なお、4月に死亡事故はありませんでした。

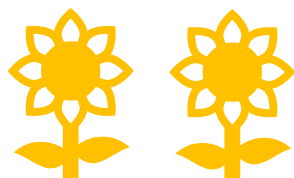
表4 令和8年度4月分

仕事の分類(中分類)	中分類 コード	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		4月	累計	4月	累計	4月	累計	4月	累計
出荷・受付係事務員	27	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
商品販売の職業	32	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
生活衛生サービスの職業	38	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	—	—
飲食物調理の職業	39	0 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	—	—
その他のサービスの職業	42	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	79	79
生産設備制御・監視の職業 (金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断)	49	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	80	80
製品製造・加工処理の職業	54	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	—	—
製品検査の職業	62	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	68	68
自動車運転の職業	66	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	82	82
運搬の職業	75	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	80	80
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	3 (3)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	78	78
計	—	9 (9)	9 (9)	5 (3)	5 (3)	4 (6)	4 (6)	78	78

() は令和7年度同月の発生件数

令和6年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。(令和6年4月19日付 6全シ協発第11号により通知済)

全国的に暑い日が続いていますね💧
夏は事故が増える傾向にあります。
こまめな休息と水分補給を忘れずに、
作業も基本に忠実に行ってくださいね。



令和7年度 都道府県別 損害賠償責任保険事故状況

No.	都道府県	①損害賠償責任保険事故				②(20)における飛散させた損壊事故				会員数/事故件数		
		件数	件数差	金額	金額差	件数	件数差	金額	金額差	会員数	事故件数/会員数	順位
1	北海道	93 (67)	26	19,448,659 (20,031,172)	-582,513	60 (40)	20	11,274,595 (8,534,881)	2,739,714	15,608	0.596	28
2	青森県	43 (40)	3	6,977,487 (4,739,228)	2,238,259	33 (29)	4	5,745,076 (3,331,319)	2,413,757	6,429	0.669	19
3	岩手県	43 (19)	24	7,430,343 (2,148,348)	5,281,995	30 (12)	18	4,404,706 (1,797,914)	2,606,792	5,929	0.725	17
4	宮城県	91 (91)	0	12,385,952 (12,629,537)	-243,585	50 (47)	3	9,241,674 (10,157,328)	-915,654	12,433	0.732	15
5	秋田県	25 (35)	-10	4,281,228 (17,574,578)	-13,293,350	12 (18)	-6	3,859,533 (12,977,835)	-9,118,302	7,057	0.354	43
6	山形県	44 (45)	-1	3,798,694 (4,597,331)	-798,637	25 (30)	-5	2,921,707 (4,019,802)	-1,098,095	8,869	0.496	33
7	福島県	81 (77)	4	12,455,571 (10,810,757)	1,644,814	64 (42)	22	10,697,584 (6,702,211)	3,995,373	12,172	0.665	21
8	茨城県	131 (114)	17	14,799,040 (13,767,287)	1,031,753	86 (66)	20	10,593,208 (9,548,891)	1,044,317	14,642	0.895	5
9	栃木県	80 (73)	7	10,833,783 (8,696,072)	2,137,711	59 (44)	15	8,789,119 (6,022,243)	2,766,876	8,898	0.899	4
10	群馬県	74 (63)	11	18,022,306 (9,653,641)	8,368,665	40 (41)	-1	8,007,712 (6,764,781)	1,242,931	9,016	0.821	9
11	埼玉県	154 (181)	-27	24,518,369 (23,880,106)	638,263	77 (101)	-24	14,433,753 (17,585,297)	-3,151,544	44,330	0.347	44
12	千葉県	131 (143)	-12	22,042,189 (26,799,894)	-4,757,705	62 (65)	-3	15,886,864 (14,774,169)	1,112,695	21,607	0.606	26
13	東京都	165 (188)	-23	20,089,299 (15,962,399)	4,126,900	26 (14)	12	4,851,590 (1,427,449)	3,424,141	82,272	0.201	46
14	神奈川県	102 (117)	-15	18,470,701 (14,321,260)	4,149,441	35 (40)	-5	12,448,243 (7,974,920)	4,473,323	36,372	0.280	45
15	新潟県	84 (65)	19	6,600,649 (5,282,627)	1,318,022	33 (30)	3	4,416,684 (3,826,620)	590,064	19,205	0.437	37
16	富山県	47 (31)	16	6,568,297 (2,402,771)	4,165,526	34 (22)	12	4,377,872 (2,085,010)	2,292,862	7,132	0.659	22
17	石川県	55 (68)	-13	8,547,661 (5,409,980)	3,137,681	43 (47)	-4	6,996,332 (3,997,820)	2,998,512	9,044	0.608	25
18	福井県	36 (40)	-4	4,969,359 (6,156,241)	-1,186,882	22 (25)	-3	2,856,164 (4,846,002)	-1,989,838	7,831	0.460	34
19	山梨県	37 (28)	9	7,304,018 (3,535,015)	3,769,003	25 (20)	5	6,322,652 (2,844,580)	3,478,072	4,190	0.883	6
20	長野県	66 (94)	-28	8,677,390 (14,518,066)	-5,840,676	37 (64)	-27	5,422,617 (10,159,424)	-4,736,807	14,912	0.443	35
21	岐阜県	94 (115)	-21	16,065,134 (15,686,242)	378,892	61 (81)	-20	11,250,601 (12,153,406)	-902,805	12,554	0.749	14
22	静岡県	114 (130)	-16	17,499,951 (19,629,673)	-2,129,722	69 (75)	-6	14,106,973 (13,661,164)	445,809	20,191	0.565	30
23	愛知県	138 (156)	-18	25,724,740 (21,097,205)	4,627,535	66 (81)	-15	17,450,472 (15,481,463)	1,969,009	35,704	0.387	41
24	三重県	81 (89)	-8	16,368,709 (12,876,237)	3,492,472	52 (53)	-1	13,040,904 (8,574,211)	4,466,693	9,881	0.820	10
25	滋賀県	55 (55)	0	7,058,517 (6,104,066)	954,451	23 (30)	-7	4,885,164 (5,112,701)	-227,537	13,195	0.417	38
26	京都府	54 (71)	-17	5,942,044 (9,428,681)	-3,486,637	33 (33)	0	4,305,469 (5,890,207)	-1,584,738	14,252	0.379	42
27	大阪府	76 (100)	-24	14,807,477 (19,717,737)	-4,910,260	22 (37)	-15	5,485,351 (11,208,651)	-5,723,300	44,831	0.170	47
28	兵庫県	135 (140)	-5	23,237,894 (21,875,424)	1,362,470	74 (77)	-3	14,774,693 (12,511,333)	2,263,360	34,243	0.394	40
29	奈良県	58 (56)	2	11,884,300 (8,363,905)	3,520,395	40 (35)	5	9,324,860 (5,016,225)	4,308,635	7,548	0.768	11
30	和歌山県	33 (37)	-4	7,455,496 (6,326,457)	1,129,039	19 (26)	-7	2,580,430 (4,552,691)	-1,972,261	5,651	0.584	29
31	鳥取県	13 (27)	-14	764,900 (2,911,724)	-2,146,824	9 (11)	-2	588,992 (1,295,946)	-706,954	3,172	0.410	39
32	島根県	34 (34)	0	3,520,129 (2,868,429)	651,700	23 (19)	4	2,218,359 (1,440,303)	778,056	4,483	0.758	13
33	岡山県	51 (50)	1	7,587,589 (6,793,068)	794,521	32 (30)	2	5,811,614 (4,775,545)	1,036,069	7,897	0.646	23
34	広島県	68 (74)	-6	11,424,246 (10,269,695)	1,154,551	49 (53)	-4	8,094,547 (8,617,504)	-522,957	12,764	0.533	32
35	山口県	38 (36)	2	3,658,734 (3,750,327)	-91,593	28 (29)	-1	3,097,192 (3,333,834)	-236,642	8,571	0.443	35
36	徳島県	32 (25)	7	5,072,713 (3,152,930)	1,919,783	21 (18)	3	4,385,260 (1,407,080)	2,978,180	4,390	0.729	16
37	香川県	59 (48)	11	10,379,915 (8,623,287)	1,756,628	37 (34)	3	6,123,693 (6,807,274)	-683,581	6,324	0.933	1
38	愛媛県	48 (35)	13	4,482,196 (5,756,539)	-1,274,343	34 (26)	8	3,736,659 (4,545,238)	-808,579	6,888	0.697	18
39	高知県	40 (27)	13	4,428,007 (1,665,146)	2,762,861	26 (15)	11	3,565,170 (1,163,236)	2,401,934	4,530	0.883	6
40	福岡県	129 (126)	3	25,248,824 (22,275,278)	2,973,546	67 (81)	-14	18,765,090 (16,593,432)	2,171,658	23,427	0.551	31
41	佐賀県	32 (38)	-6	4,972,468 (6,394,312)	-1,421,844	20 (30)	-10	4,270,461 (5,567,509)	-1,297,048	3,523	0.908	2
42	長崎県	35 (39)	-4	4,991,652 (6,902,362)	-1,910,710	30 (25)	5	4,757,927 (5,365,978)	-608,051	5,233	0.669	19
43	熊本県	84 (100)	-16	11,608,847 (11,555,126)	53,721	54 (68)	-14	9,248,943 (9,512,129)	-263,186	9,833	0.854	8
44	大分県	38 (42)	-4	6,988,836 (5,474,663)	1,514,173	28 (31)	-3	5,983,124 (4,484,390)	1,498,734	4,981	0.763	12
45	宮崎県	45 (44)	1	5,157,722 (4,644,191)	513,531	34 (35)	-1	3,967,463 (3,878,016)	89,447	4,983	0.903	3
46	鹿児島県	80 (75)	5	9,312,892 (10,728,469)	-1,415,577	52 (58)	-6	6,448,944 (9,604,568)	-3,155,624	13,218	0.605	27
47	沖縄県	36 (35)	1	6,599,646 (6,885,551)	-285,905	26 (24)	2	3,464,060 (4,482,334)	-1,018,274	5,637	0.639	24
合計		3,282 (3,383)	-101	510,464,573 (484,673,034)	25,791,539	1,882 (1,912)	-30	345,280,100 (326,414,864)	18,865,236	675,852	0.486	

()は令和6年度の件数、金額

※1 赤色は件数、金額が前年度より増加した都道府県
 ※2 青色は減少ベスト5 黄色は増加ワースト5

「安全はすべてに優先する」

会員さんと役職員が一丸となって、
 シルバー業界の事故撲滅に取り組んでいきましょう!



草刈り作業中の飛び石、対策していますか？ 損害額5億超え！

損害賠償責任保険に係る、「飛散させた物で損壊」の事故件数は、令和7年度は1,882件(3億4,528万100円)となっており、令和6年度の1,912件(3億2,641万4,864円)より30件減少しましたが、損害額は、約1,886万円増加しており、一件当たりの損害が高額化しています。また、飛散事故は、件数全体の約6割、損害額は、約7割を占めるなど、根本的な改善にはほど遠く、草刈作業時の飛散防止対策の徹底が重要課題です。

飛び石は起こってしまうもの、運が悪かった、と考えていませんか？ 飛び石事故が発生したセンターは、原因究明、解決策の検討と実行、そして再発防止策を行ってください。飛び石事故は、ゼロにすることが可能です！

全国の損害賠償責任保険事故の総額は5億1,046万4,573円です！！

ポイント 損害賠償事故がゼロのセンターが実施している飛び石事故対策

- センター職員等のパトロールの回数増、無通告の現場巡回（日常業務の合間に現場へ立ち寄り、会員への声かけ、普段から見に来るという環境づくり）
- 事前下見を徹底し、危険と判断した場合は受注しない方針を明確にする（急斜面・法面、砂利や飛散物が多い場所、車両移動ができない場所、高低差があり転落リスクの高い場所など）
- 飛散防止ネットの活用を必須（車両移動依頼、危険区域への立ち入り禁止など）
- ナイロンカッターの使用禁止（低速上下刃回転式のみ使用）（法面等でのラジコン草刈機を活用）
- 高刈の実施（5cm程度残す／肩掛式刈払機に3cmの安定板の取り付け）
- 継続的な教育（就業前ミーティング、毎年の草刈・剪定安全研修、未受講者は作業不可など）
- 厳格な対応（事故情報の共有と再発防止、報告書、防止対策、反省文の提出、詳細な聞き取りなど）
- 低速上下刃逆回転ハサミ式刈刃班の発足
→新規受注や危険度が高い現場を低速上下刃逆回転ハサミ式刈刃班が作業し、危険度が低い現場はチップ刃を使う会員が作業。

飛び石対策 チェックリスト

下見・作業計画

- ☐ 事前の下見（作業範囲、危険・注意箇所の確認）
- ☐ 複数人での作業体制

作業前の安全措置

- ☐ 作業当日の現場確認（危険予測）
- ☐ 作業前の作業者ミーティング
- ☐ 地面の異物や小石の除去
- ☐ 作業中の看板、危険箇所にコーン等の目印設置

作業に適した保護具の着用

- ☐ 保護帽、保護メガネ、手袋、長靴、長袖 等

作業中の安全措置

- ☐ 車両を安全な場所に移動
- ☐ 飛散防止ネットの設置（適切な大きさ、位置、距離）
- ☐ 飛散しにくい低速回転刃の使用や手刈りの選択
- ☐ 作業者同士は15m以上の間隔をとる
- ☐ 高刈り（5cm程度残す）をしている

令和7年度 損害賠償責任保険月別事故状況

月	損害賠償責任保険事故	除草、除草剤散布、草刈り（仕事の内容）	飛散させた損壊（事故の型）
4月	153	76	62
5月	300	212	192
6月	424	315	261
7月	474	354	283
8月	355	289	237
9月	443	349	291
10月	407	308	251
11月	275	171	146
12月	194	106	94
1月	109	40	31
2月	84	22	19
3月	64	14	15
合計	3,282	2,256	1,882



特に夏の時季は、事故が多いのでくれぐれも
気をつけてね😊





動画「草刈り作業時の重大事故の危険性と防止対策について」

動画では、草刈り作業に潜む7つの危険ポイントについて、事例を交えながら分かりやすく紹介しています。視聴者が危険を予測しながら理解を深められる内容となっており、あわせて具体的な対策方法や作業時の心構えについても解説しています。

安全教育は繰り返しが大切です。日頃の安全対策を見直すきっかけとして、ぜひご活用ください。



動画はこちらの QR コードからご覧いただけます



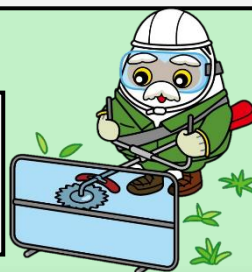
全シ協作成 安全な草刈り作業のための動画のご案内

草刈り作業をされる会員の皆さまへ

ぜひ、定期的に動画「安全な草刈り作業のために」をご視聴いただき、安全な作業方法の再確認にご活用ください。

飛び石防護ネットは必ず設置し、安全な作業を心がけましょう。

動画 DVD の貸出も行っております。
希望のセンターは、全シ協 研修・支援課まで



動画はこちらの QR コードからご覧いただけます。⇒



全シ協 HP に移動します

猫と暮らしていると、お腹が空いたサインに気付く場面はたくさんあります。私の愛猫の場合、空腹アピールがちょっと個性的です。とにかく「悪いこと」をして、私の気を引こうとします。例えば朝のこと、まだこっちはいびきをかきながら、よだれを少々たらし夢心地でいるのに、やけにバタバタ音がし、薄目を開けると、愛猫が携帯電話の充電機の線を噛んでいたり、卓上の小物をバタバタと床へ落としたりしています。それが一通り済むと、わざわざ私の胸に乗り、顔を押し付け大きな声で「ニャー!」、そろそろご飯ですよと一生懸命伝えているようです。でも、決して本気で困るような悪さはせず、「このくらいならゆるしてもらえるかな?」という、絶妙なイタズラ加減です。その可愛らしい計算高さには、毎回笑ってしまいます。猫がそんなアピールをするのは、もちろんご飯が欲しいからですが、同時に「ちゃんと僕を見てね」「気にかけてね」のサインでもあるのかもしれないと感じました。ご飯を差し出すと、満足そうに小さく「ゴロゴロ」と喉を鳴らす姿（喜び）に、こちらまで幸せな気分になります。イタズラも、空腹アピールも、全部ひっくるめて愛おしい存在です。今日も私は、そんな愛猫に振り回されながら、温かい朝時間を過ごしています。辛い時もありますが……。そんな何気ない日常に感謝です。そして、この出来事は人にも通じるものがあるように思います。家族や職場の同僚やあるいは会員さんが少し困らせるような言葉を言ったり、わざと気を引くような態度を見せたりするとき、その奥には「気付いてほしい」「自分を大切に思っていてほしい」という小さな願いが隠れているのではないのでしょうか。もちろん、すべてを許せるわけではありませんが、表面に見える言動だけではなく、その背景にある気持ちに少し目を向けることで、人との関係は今より少しだけ優しくなるのかもしれない。猫の小さなイタズラから教えられるように、私たちの周りにも、言葉にならない「見ていてね」「そばにいてね」というサインがあるのだと思います。小さな変化に気づき、寄り添える人になりたいものです。（高木）